## まとめ

- データベースとは
  - 共有するデータを,便利で安全に管理できる場所
- データモデルとは
  - 記号系
  - キットワーク、階層、関係、オブジェクト指向
- データベース管理システムとは
  - 効率的で信頼性高く、便利に、かつ複数人で使用可能な、大量の永続データの保存と利用を可能にする機能を提供するもの
- ファイルとの違い
  - DBは「共有する」というための機能がいろいろ満載
- Whether you know it or not, you're using a database every day hour.
- 次回は2章

## 第2章 リレーショナルデータモデル 一構造記述一

数学の集合論に基づいたリレーショ ナルデータベースの構造記述

## リレーショナルデータベース

- 主な応用
  - 企業内部のデータ管理
  - 在庫. 人事. 販売. 生産. 顧客情報など
- 「使いやすく、問題が発生しにくい」が重要 - データベースは大事なデータを管理する場所
- リレーショナルデータベース:しくみが単純
  - データが表形式で表せて簡単
  - 人間が出力を見たときに分かりやすい
  - それぞれの処理が明快
  - データを無矛盾に保ち、障害にも対応

## 今回の内容

- ・リレーショナルデータモデル
  - 定義に使われている数学的用語
  - リレーション, テーブル
  - スキーマ
  - インスタンス, タップル
  - 第1正規形

### リレーショナルデータモデルの提案

- E. F. Codd, "A Relational Model of Data for Large Shared Data Banks," Communications of the ACM, Vol.13, No.6, pp.377-387, 1970.
- アプリケーションプログラムとデータ(に関係すること)を切り離す=データ独立性

## リレーショナルデータモデル

- 従来のデータモデルと比べて単純, データ独立性が高い
  - 複数の属性の組合せによって表を定義
- 表同士の演算によりさまざまな処理を実現
- (可変長のデータや,構造が複雑なデータに は不向き)
- 単純=数学的

#### A Relational Model of Data for Large Shared Data Banks

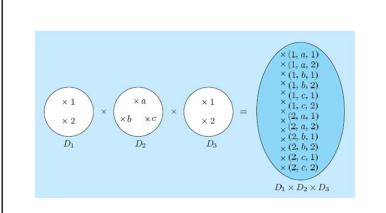
E. F. Codd IBM Research Laboratory, San Jose, California

Future users of large data banks must be protected from having to know how the data is organized in the machine (the internal representation). A prompting service which supplies such information is not a satisfactory solution. Activities of users at terminals and most application programs should remain unaffected when the internal representation of data is changed and even when some aspects of the external representation are changed. Changes in data representation will often be needed as a result of changes in query, update, and report traffic and natural growth in the types of stored information.

Existing noninferential, formatted data systems provide users with tree-structured files or slightly more general network models of the data. In Section 1, inadequacies of these models are discussed. A model based on n-ary relations, a normal form for data base relations, and the concept of a universal data sublanguage are introduced. In Section 2, certain operations on relations (other than logical inference) are discussed and applied to the problems of redundancy and consistency in the user's model.

## リレーション(数学的用語で定義)

- ドメイン: データの定義域人名, 年令, 給与
- 直積
- タップル
- ・ リレーション:ドメイン $D_1,D_2,\cdots,D_n$ 上のリレーションとは、これらドメインの直積 $D_1 \times D_2 \times \cdots \times D_n$ の任意の有限部分集合
- 濃度(基数):タップルの総数
- ・ 次数:リレーションが定義されているドメインの数



次数3=3項(ternary)リレーション

次数がnのときは、n項(n-ary)リレーション

## 属性名とリレーション名

D<sub>1</sub>={x|xは人名}, D<sub>2</sub>=INTEGER リレーションR

太郎 25

一郎 30

花子 26

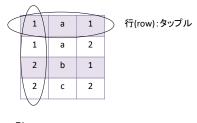
桃子 22

テーブル表現

R⊆D<sub>1</sub>×D<sub>2</sub>(⊆は部分集合の意味) R={(太郎,25),(一郎,30),(花子,26),(桃子,22)}



リレーションのテーブル表現



列 (column)

行の並び順は、何の情報も担っていない 列の順番には意味がある

10

### 属性名とリレーション名

リレーション $R(\subseteq D_1 \times D_2 \times \cdots \times D_n)$ の属性名を $A_{1,A_2,\cdots,A_n}$ とし、ドメイン関数 dom を次のように定義dom: $A_i \rightarrow D_i$ (i=1,2,···,n)

すると、 $R \subseteq dom(A_1) \times dom(A_2) \times \cdots \times dom(A_n)$ 例: 友人  $\subseteq dom(名前) \times dom(任会)$ 

例:友人⊆dom(名前)×dom(年令)

リレーションスキーマ < インスタンス



### リレーション(数学的用語で定義)

- ドメイン: データの定義域人名: 年令: 給与
- 直積
- ・タップル
- ・ リレーション:ドメイン $D_1,D_2,\cdots,D_n$ 上のリレーションとは、これらドメインの直積 $D_1 \times D_2 \times \cdots \times D_n$ の任意の有限部分集合
- 濃度(基数):タップルの総数
- 次数:リレーションが定義されているドメインの数

13

### スキーマとインスタンス

- ・スキーマ
  - データベースに格納されるデータのデータ構造, データの型, データ同士の関連, 各種制約を記述したもの
  - 最初に一度定義したら(基本的に)変更されない
- ・インスタンス
  - スキーマに基づいて格納された実際のデータ
  - データベースの利用に応じて追加・削除・変更される

5

### スキーマとインスタンス

- スキーマ(Schema)
  - リレーション名, リレーションの各属性名, ドメイン
  - キー制約、参照整合性制約、属性制約などの制約
  - リレーションの時間に不変な性質
- ・インスタンス
  - 属性値の組によって表されるデータ(タップル)の集合
  - 一般に時間の移り変わりと共に変化

#### 従業員

<b>从</b> 不具				
従業員番号	部門番号	氏名	年齢	
001	1	熊本太郎	27	
002	2	熊本一郎	17	
003	3	熊本花子	30	

スキーマ

※ 実際には各種制約を含む

インスタンス

1

### リレーションの例

#### 科目

科目番号	科目名
01	データベース
03	コンピュータグラフィックス
	•••

#### 学生

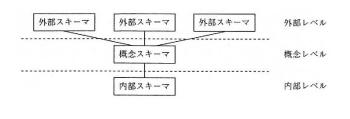
学籍番号	氏名
0123001	熊本太郎
0123002	熊本一郎
0123003	熊本花子

#### 履修

科目番号	学籍番号	成績	
01	0123001	60	
03	0123002	80	
01	0123003	70	
	•••		

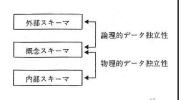
## 抽象化の3レベル

- DBMSの管理するスキーマの3階層
  - 外部スキーマ、概念スキーマ、内部スキーマ
  - ANSI/SPARCモデル[1975](下図)



データの独立性

- データベースではデータはアプリケーションと は独立して組織化される
  - 論理的データ独立性
    - 外部スキーマ・アプリケーションには影響を与えない範囲で概念スキーマを変更可能
  - 物理的データ独立性
    - 概念データスキーマに 影響を与えない範囲で、 内部スキーマ(=物理 データ構造)を変更可能



抽象化の3レベル

- ・ DBMSの管理するスキーマの3階層
  - 内部スキーマ
    - 物理レベルのデータ構造
  - 概念スキーマ
    - データベースの定義言語で定義されるスキーマ
  - 外部スキーマ
    - 外部のアプリケーションから操作する時に、それぞれのアプリケーションインターフェイスに見せるスキーマ

18

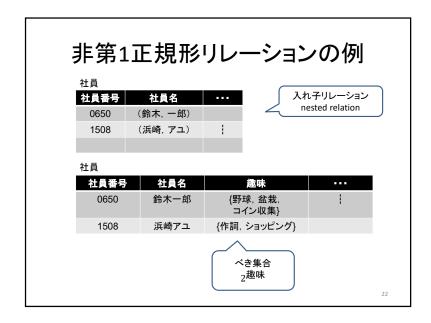
### データベースの閉世界仮説

- closed-world assumption
- 現時点で真であると判明していないことは偽とする
- 現時点でデータベースに記録されていない事 象は実世界で生起していない
- データベースには、データが過不足なく存在

## 第1正規形

- ・ リレーション(スキーマ)を定義するすべてのドメインがシンプルのとき、そのリレーションは第1正規形(the first normal form, 1NF)であるという.
  - どの属性の値も集合であることはない
  - 複数の属性にまたがる値はない
- 入れ子型リレーション(nested relation)や、べき集合の属性があってはならない
- ドメインがシンプルでないリレーションは非第1正 規形(non-first normal form, (NF)<sup>2</sup>)

21



## 非第1正規形リレーションの例

社員

社	:員番号	社員名	•••
	0650	(鈴木, 一郎)	
	1508	(浜崎,アユ)	- 1

社員

사무포디	社員	名	
社員番号	姓	名	
0650	鈴木	一郎	
1508	浜崎	アユ	1

.

# 非第1正規形リレーションの例

社員

社員番号	社員名	趣味	•••
0650	鈴木一郎	{野球, 盆栽, コイン収集}	1
1508	浜崎アユ	{作詞, ショッピング}	

社員

社員番号	社員名	趣味	•••
0650	鈴木一郎	野球	1
		盆栽	
		コイン収集	
1508	浜崎アユ	作詞	
		ショッピング	

#### 非第1正規形リレーションの正規化 社員名 社員番号 社員名 姓 社員名 名 社員番号 (山田, 太郎) 1508 (鈴木, 花子) 1508 鈴木 花子 (b) (a)のリレーションの正規化 (a) 社員名値が直積の元であるから非第1正規形 社員番号 社員名 趣 味 社員番号 社員名 趣 味 山田太郎 (読書, プログ, 山田太郎 山田太郎 0650 1508 鈴木花子 |料理, カラオケ 加州大郎 0650 1508 鈴木花子 料理 (c) 趣味値がべき集合の元であるから非第1正規形 鈴木花子 カラオケ (d) (c)のリレーションの正規化 25

Akifumi Makinouchi. 1977. A consideration on normal form of not-necessarily-normalized relation in the relational data model. In Proceedings of the third international conference on Very large data bases - Volume 3 (VLDB '77). VLDB Endowment, 447-453.

#### A CONSIDERATION ON NORMAL FORM OF NOT-NECESSARILY NORMALIZED RELATION IN THE RELATIONAL DATA MODEL

Akifumi Makinouchi

## 空値 (4.4)

- 空値
  - 属性値が存在しないことを示す特殊な属性値
  - 「NULL」と表す
- ゼロや空白と空値の区別に注意
  - ゼロや空白の場合は、その 履修 属性値がゼロあるいは空白 科目番号 学籍番号 と分かっているもの
  - NULLの場合は. 値が存在 しない、値がまだ分から ない、などを意味する

00001 00002

※ NULLは、値がないことを表す (例えば成績が未評価など)

00003

0

NULL

まとめ

- ・リレーショナルデータモデル
  - 定義に使われている数学的用語
  - リレーション. テーブル
  - スキーマ
  - インスタンス. タップル
  - 第1正規形
  - <u>- 空値</u>
- ・ 次回は第3章